

# 取扱説明書

**DAYTONA**<sup>®</sup>  
S36244①/③

- \*取り付け前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
- \*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
- \*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

<b>PROGRESS Racing CDI</b>	適応車種	商品 NO.
	ライブ DIO/SR/ZX	36244
		36245
36246		

この度はデイトナ「プログレスレーシングCDI」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめください。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

## 〈特徴〉

- 各車種専用回路を内蔵し、ノーマルエンジン特性に最適な点火タイミングに設定した、アナログタイプの CDI。
- ノーマルエンジン+ $\alpha$ （パワーフィルターやチャンバー装着など）のファインチューン車にオススメ。
- 高級感溢れるアルミ押し出し材のケース（ブルーアルマイト仕上げ）を採用。冷却効果 UP と安定点火をもたらします。
- 点火作動確認用 LED ランプ付き。CDI への導通の有無をチェックできます。

## 〈商品内容〉

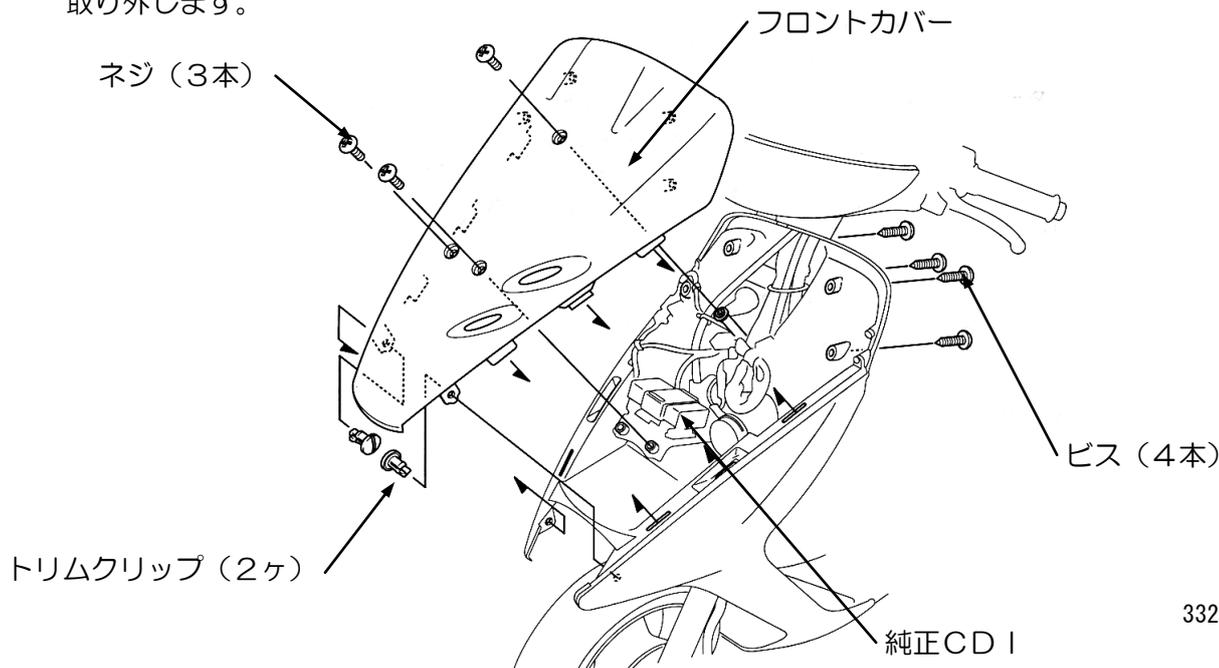
NO	パーツ名	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	プログレスレーシング CDI	1	②	タイラップバンド	L=300	2

## 〈注意事項〉

- ・ この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。  
※ 同一規格の CDI カプラー採用車には差し込めてしまいますが、回路破損など、正常に機能しません。
- ・ この商品は道路運送車両法および道路運送車両の保安基準に適合しております。但し、一般公道において、原付一種の場合は 30km/h、原付二種の場合は 60km/h を超える速度で走行した場合は、ライダー自身が道路交通法違反（速度超過）で罰せられます。一般公道では必ず違法運転を心掛けてください。
- ・ この商品を使用する際は、エンジン高回転域使用に耐えうる熱価の新品プラグ（標準から#1~2 アップ）に必ず交換してください。ご使用状況に合わない熱価のプラグ（または磨耗したプラグ）を使用されると、先端電極が溶けてしまい、ピストン穴開きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。
- ・ 使用するプラグは、必ず抵抗入りのレスタープラグとしてください。レーシングプラグなどはノイズを発生しやすく、CDI の性能低下や作動不良、破損の原因（保証対象外）となります。
- ・ プラグキャップは純正をご使用ください。純正以外のプラグキャップを使用されると、タコメーター直結配線から正確な回転数を表示できない、CDI が正常に作動しない、などトラブルの原因となります。
- ・ バッテリー状態の点検を必ず定期的に行ってください。安定起動電圧が確保できないと、エンジン始動が困難となる場合があります。また、CDI 装着後アイドルリングが若干低くなる場合は、適切にアイドルリング調整してください。
- ・ この商品はバッテリー点火方式の CDI です。レギュレータを取り外すとエンジン始動できなくなります。レースに使用される場合などご注意ください。尚、ノーマル車両とは異なる配線状態の車両において発生した不具合（または破損）につきましては、当社では一切保証できません。予めご了承ください。
- ・ 各種灯火類（フォグランプやハルブなど）の変更や車体電装の改造などが原因で、CDI に悪影響を及ぼす場合があります。このような場合のクレームは一切お受けできません。予めご了承ください
- ・ 車体側の電源供給が不安定になると、瞬間的な過電流が発生し、CDI が破損する場合があります。構造上、CDI は分解修理不能につき、破損トラブルにつきましては、当社では一切保証できません。予めご了承ください。
- ・ 外観不良（バリやキズ、ポッティング割れなど）に関するクレームは一切お受けできません。予めご了承ください。
- ・ 不適切な使用状況下でのエンジントラブル（焼き付きや破損）や、常識の範囲を超えた車体改造などにより発生した事故や怪我などにつきましては、当社では一切保証できません。予めご了承ください。
- ・ 他社製品との組み合わせは未確認（保証対象外）です。予めご了承ください。
- ・ 取り付け後約 100km 走行しましたら各部を点検してください。その後は 500km 毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。
- ・ 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- ・ この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品につきましても同様です。予めご了承ください。

## ■ 取り付け詳細図 ■

1. フロント側ネジ3本、裏側ビス4本、フロント下側のトリムクリップ2ヶを外し、フロントカバーを取り外します。



2. 純正CDIの配線をたどり、カプラー部分で取り外します。  
(この時、メインスイッチがOFFになっている事を事前に確認してください。)
3. ①デジタルCDIの配線をカプラー部分で取り付けます。
4. ②タイラップバンドを使用し、純正CDIが取り付けであったステー部分の裏側へ取り付けます。
5. エンジンを始動してください。この時、エンジンが始動しにくい場合はキックで始動してください。
6. エンジンが始動できる事を確認したら、取り外したパーツを元通り組み付け、作業は終了です。

故障かな?と思ったら... (基本的に純正CDIから変更した時に起り得る症状を記載しています。)

症状	原因または対処
エンジンが始動できない 火花が弱い(または飛ばない)	1. カプラーの接続が完全に行われていない 2. プラグの不良/かぶり 3. 適応車種が違う ※不適合でもカプラー形状は合う場合があります ※中古で車両購入された場合は、エンジン型式が異なっていたり、車体側ハーネスが加工されているケースがあります
キックでは始動できるが、セルでは始動できない。セルが回らない	1. バッテリーやレギュレータの性能低下(または不良) 2. プラグの不良/かぶり
純正CDIではエンジン始動できる	当社CDIはエンジン始動時に純正よりも多くの起動電圧を必要とします。バッテリーの電圧を確認してください。または強めにキックしてみてください。それでも始動できない場合はCDIの破損、適応違いなどが考えられます
アイドリングしない (または安定しない)	1. バッテリーの性能が低下している 2. アイドリングを少し上げてください
高回転まで吹け上がらない	1. カプラー部の電極が焼けてしまっている。⇒ 配線部分を確認する 2. 同時装着パーツとのマッチングが良くない 3. キャブレター/駆動系のセッティングが合っていない
走行中エンジンが止まってしまった	CDIが直接原因とは考えにくいです。プラグやキャブレターセッティングなど、不適切な使用状況下でのエンジントラブルの可能性が高いといえます
灯火類が切れてしまった	CDIが直接原因ではありません。灯火類の配線状態やバルブの組み付け状態などを確認することをオススメします
リミッターが解除されない	エンジン始動ができるならCDI自体は正常で、電気リミッターはもちろん解除されています。プーリーやマフラーなどが原因でスピードが上がらない症状となっている可能性が高く、状態確認(または交換)する必要がありそうです

## ⚠️ 注意

### 「アナログタイプの CDI について」

当社プログレスレーシング CDI は、CDI 点火方式を採用した小型排気量車においてポピュラーな、アナログタイプの CDI となっております。各車種専用回路を内蔵し、ノーマルエンジン特性に最適な点火タイミングに設定されておりますので、ノーマルエンジン+ $\alpha$ （パワーフィルターやチャンバー装着など）のファインチューン車にオススメです。

但し、アナログ CDI という製品特性上、各回転での点火タイミングの設定自由度は限られてしまいますので、マイコンチップ内蔵のフルデジタル CDI と比較すると、どうしても追従能力に欠けるといわざるを得ません。そのため、ビッグボア+ $\alpha$ （パワーフィルターやチャンバー装着など）のハイチューン車に使用する CDI としては、当社パワーアドバンス・フルデジタル CDI をオススメしております。

### 「ライブ DIO について」

ライブ DIO 系のノーマル車両においては、当社プログレスレーシング CDI に交換しても、純正マフラー（※特に使用距離が多く、内部にカーボンが堆積してしまった状態のマフラー）が原因でエンジン回転数が頭打ちしてしまい、スピードが上がりにくくなる、といった症状が見られます。確実に最高速を上げるためには、マフラー交換のご検討が必要になる場合がありますので、この点はご了承ください。

### 「00以降の触媒付き車両についての注意」

'00 以降の排ガス規制モデル（触媒付きマフラー標準採用車）の多くは、キャブレターのスロー系が非常に薄くなっています。車両個体差（組付個体差）にもよりますが、エンジンが暖まってからの始動が悪くなる傾向が見られますので、その場合はエアスクリーンを全閉から 1/4~1/2 戻し、アイドル回転数が 1300rpm 付近となることを目安に、適切に調整してください。

### 「その他、ご使用にあたっての留意点」

車両個体差やパーツの組み合わせ、ご使用状況などによっては、予期せぬトラブルも想定されます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書記載の「注意事項」を十分ご確認ください。

カスタマイズ車両はもちろんのこと、ノーマル車両でも、高回転までよく回す乗り方をされる場合にはエンジン

が焼き付く恐れがありますので、必ずキャブレター等のセッティングを併せて行ってください。

また、使用するプラグは、必ず抵抗入りのレジスタープラグ（新品。プラグキャップは純正使用）とし、エンジン高回転域使用に耐えうる熱価（標準から #1~2 アップ）のものに交換してください。